

第 65 回日本救急医学会関東地方会幹事会

2015 年 2 月 7 日 (土) 12 : 00~13 : 00

会場 : パシフィコ横浜 会議センター 第 1 会場 (メインホール)

議事録署名人の確認

新幹事推薦 (資料①)

森村常任幹事長

報告事項

1. 庶務報告 (資料②) 藤島常任幹事
2. 各常任幹事担当報告
 - ① 看護部会 三宅常任幹事
 - ② 救急隊員部会 松田常任幹事
 - ③ SOS-KANTO 委員会 (資料③) 矢口常任幹事
 - ④ 編集委員会 (資料④) 森村常任幹事
 - ⑤ ホームページ (資料⑤) 田中常任幹事
3. 第 65 回日本救急医学会関東地方会報告 猪口会長
4. 第 66 回日本救急医学会関東地方会
準備状況報告 (資料⑥) 横田次期会長
5. 施行細則の変更について (資料⑦) 森村常任幹事長
6. 日本救急医学会評議員推薦について 森村常任幹事長

審議事項

1. 2013 年度決算報告 (資料⑧) 藤島常任幹事
2. 2014 年度予算について (資料⑨) 藤島常任幹事
3. 名誉会員の推戴について 森村常任幹事長
4. 次々期会長について (資料⑩) 森村常任幹事長
5. 新規常設委員会について (資料⑪) 森村常任幹事長

新幹事候補者リスト					
	新幹事候補者名	所属	出身大学	卒業年度	資格
1	くわな つかさ 桑名 司	日本大学医学部附属板橋病院 救命救急センター	日本大学医学部大学院 外科系救急医学	平成13年度	有
推薦者：木下 浩作(日本大学医学部救急医学)、櫻井 淳(日本大学医学部救急医学) 入会日：平成21年2月7日					
2	はぎわら しゅういち 萩原 周一	群馬大学大学院医学系研究科 救急医学	群馬大学大学院 医学系研究科	平成24年度	有
推薦者：饗場 庄一(群馬県消防学校講師)、大嶋 清宏(群馬大学大学院医学系研究科救急医学) 入会日：平成18年以前					
3	こばやし けんたろう 小林 憲太郎	独立行政法人国立国際医療センター病院 救命救急センター 救急科	徳島大学医学部医学科	平成15年度	有
推薦者：木村 昭夫(国立国際医療研究センター病院)、萩原 章嘉(国立国際医療研究センター病院) 入会日：平成24年2月4日					
4	なかむら きょうた 中村 京太	横浜市立大学医学部医学科救急医学	横浜市立大学医学部医学科	平成5年度	有
推薦者：森村 尚登(横浜市立大学救急医学)、松本 順(横浜市立大学附属病院) 入会日：平成19年以前					
5	むぐるま たかし 六車 崇	横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター	旭川医科大学 医学部医学科	平成9年度	有
推薦者：森村 尚登(横浜市立大学救急医学)、松本 順(横浜市立大学附属病院) 入会日：平成23年8月4日					
6	かない のぶやす 金井 信恭	社会医療法人 河北総合病院 救急部	聖マリアンナ医科大学	平成5年度	有
推薦者：金井 尚之(東京警察病院 救急科)、曾我 幸弘(東京女子医科大学病院 救命救急センター) 入会日：平成19年以前					
7	むらた きよし 村田 希吉	東京医科歯科大学医学部附属病院救命救急センター	弘前大学大学院 医学研究科	平成7年度	有
推薦者：加地 正人(東京医科歯科大学医学部附属病院)、大友 康裕(東京医科歯科大学医学部附属病院) 入会日：平成17年以前					
8	あさり やすし 浅利 靖	北里大学医学部救命救急医学	北里大学医学部	昭和60年度	有
推薦者：片岡 祐一(北里大学病院救命救急・災害医療センター)、佐藤 千恵(北里大学病院救命救急・災害医療センター) 入会日：平成27年1月7日再入会(平成16～25年東北救急医学会幹事、平成4～18年関東地方会幹事)					
9	たけうち いちろう 竹内 一郎	北里大学病院 救命救急災害医療センター	北里大学大学院	平成16年度	有
推薦者：片岡 祐一(北里大学病院救命救急災害医療センター)、花島 資(北里大学病院救命救急災害医療センター) 入会日：平成24年2月2日					
10	こやま やすあき 小山 泰明	筑波大学病院 救急・集中治療科	筑波大学医学専門学群	平成15年度	有
推薦者：上野 幸廣(筑波メディカルセンター病院)、染谷 泰子(JAとりで総合医療センター) 入会日：平成23年7月25日					
11	わたなべ えいぞう 渡邊 栄三	千葉大学大学院 医学研究院 救急集中治療医学	千葉大学大学院 医学研究科博士課程	平成15年度	有
推薦者：北村 伸哉(君津中央病院 救急・集中治療科)、織田 成人(千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学) 入会日：平成9年6月21日					
12	やまだ けんじ 山田 賢治	杏林大学医学部付属病院 高度救命救急センター	香川大学大学院	平成3年度	有
推薦者：山口 芳裕(杏林大学医学部)、後藤 英昭(東京都立広尾病院) 入会日：平成19年以前					
13	たるい たけひこ 樽井 武彦	杏林大学医学部付属病院 救急医学教室	大阪大学医学部医学科	平成2年度	有
推薦者：山口 芳裕(杏林大学医学部)、後藤 英昭(東京都立広尾病院) 入会日：平成21年2月7日					
14	もりした こうじ 森下 幸治	東京医科歯科大学医学部附属病院救命救急センター	東京医科歯科大学大学院 博士課程	平成23年度	有
推薦者：加地 正人(東京医科歯科大学医学部附属病院)、相星 淳一(東京医科歯科大学医学部附属病院) 入会日：平成27年1月5日再入会(平成20～24年関東地方会一般会員、留学の為2012年5月29日付退会)					
15	あかし あきこ 明石 暁子	東京都立墨東病院 救命救急センター	長崎大学医学部	平成8年度	有
推薦者：森村 尚登(横浜市立大学大学院医学研究科救急医学)、濱邊 祐一(東京都立墨東病院 救命救急センター) 入会日：平成24年3月8日再入会(平成12～16年関東地方会一般会員)					

新幹事候補者リスト					
	新幹事候補者名	所属	出身大学	卒業年度	資格
16	ただ かつしげ 多田 勝重	日本大学病院救急科	日本大学大学院 医学研究科	平成18年度	有
推薦者：木下 浩作(日本大学医学部救急医学)、櫻井 淳(日本大学医学部救急医学) 入会日：平成13年2月10日					
17	やすだ すすむ 安田 貢	独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター 救命救急センター	筑波大学医学専門学群	昭和63年度	有
推薦者：須田 香之(水戸済生会総合病院 救命救急センター)、小泉 雅典(独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター 救命救急センター) 入会日：平成23年2月7日					
18	あきづき のぼる 秋月 登	東京女子医科大学病院 救命救急センター	東海大学医学部医学科	平成9年度	有
推薦者：矢口 有乃(東京女子医科大学 救急医学)、武田 宗和(東京女子医科大学 救急医学) 入会日：平成25年11月29日再入会(平成21年5月23日～平成26年5月13日九州地方会会員(平成21年5月24日～平成26年5月13日同会評議員))					
19	しづさわ たかゆき 渋沢 崇行	慶應義塾大学医学部救急医学教室	慶應義塾大学医学部	平成17年度	有
推薦者：堀 進悟(慶應義塾大学医学部救急医学)、並木 淳(慶應義塾大学医学部救急医学) 入会日：平成15年以前					
20	いしい えりか 石井 恵利佳	獨協医科大学越谷病院 看護部	熊本大学大学院社会文化 学研究科教授システム学専 攻博士前期課程	平成24年度	有
推薦者：池上 敬一(獨協医科大学越谷病院)、浅香 えみ子(獨協医科大学越谷病院) 入会日：平成21年2月7日(2014年度幹事申請受付漏れ、同年度仮幹事)					

2014 年度 庶務報告

(2014 年 12 月 31 日現在)

総会員数 :	1174 名	(新会員 131 名)
幹事	321 名	(新幹事* ¹ 16 名)
名誉	39 名	(新名誉会員* ¹ 2 名)
一般 (医師)	596 名	(新会員 66 名)
一般 (看護師)	179 名	(新会員 54 名)
一般 (救急救命士)	15 名	(新会員 5 名)
一般 (その他)	24 名	(新会員 6 名)

*¹2014 年 2 月 16 日幹事会承認

退会者数 : 128 名 (うち 114 名は会費滞納による自然退会)

名誉	0 名
幹事	0 名
一般 (医師)	73 名
一般 (看護師)	46 名
一般 (救急救命士)	2 名
一般 (薬剤師)	2 名
一般 (理学療法士)	1 名
一般 (作業療法士)	1 名
一般 (不明)	3 名

SOS-KANTO 委員会報告

平成 27 年 2 月 7 日

SOS-KANTO 担当常任幹事 矢口 有乃

1. 2014 年会議開催報告

①全体会議 2 回開催

第 1 回全体会議 2 月 1 日 (火) パシフィコ横浜

第 2 回全体会議 10 月 28 日 (火) 福岡サンパレス

②SOS-KANTO 運営小委員会 1 回開催

第 1 回運営小委員会会議 1 月 31 日 (金) (株)へるす出版事業部会議室

2. 委員長の交代について

4 月以降の SOS-KANTO 委員会 委員長は、櫻井先生 (日本大学板橋病院 (当時)、現日本大学病院) に交代となった。

3. 参加施設数 67 施設

4. データ集積について

全症例数 17,098 例、646 例を除外、最終解析用データ 16,452 例。

5. 第 2 回参加施設調査について

アンケート調査を実施した。

6. PICO

スタディー・デザインの確認の為、解析テーマ一覧に関して、すべてのテーマについて、PICO 提出が義務づけられた。2014 年 12 月末日現在、承認されたテーマは 35 件。

7. 解析テーマ・PICO

解析班	GROUP および内容	テーマ数
1	Assessment Guidelines (G 2000 versus G2010) Group (SOS-KANTO Study 10 年間の比較)	7
2	Pre-hospital Care Group (市民応急手当、口頭指導、消防機関救命処置、院外救急医療活動)	26
3	In-hospital Care Group (病院収容後救命処置)	21
4	Post Cardiac Arrest Care Group (心停止後症候群、蘇生後集中治療)	44
5	VF Group (VF 症例全般：背景因子から治療戦略)	8
6	Non-Shockable and/or Non-Cardiac Group	11

	(VF以外の症例、非心原性疾患、心原性と非心原性)	
7	Regional System Group (救急システム：発生場所、地域差、施設、勤務時間帯)	20
8	Outcome Prediction Group (予後予測、蘇生中止基準、採血データ、背景因子)	25
9	Paediatric Resuscitation Study group: PResS (小児解析全般)	13
10	Termination of Resuscitation(TOR) Group(蘇生中止基準)	12

合計 186 テーマ

以上

『日本救急医学会関東地方会雑誌』第35巻2号 現状報告

2015年2月7日
編集委員長 田中 裕

1) 投稿論文数

全投稿数：73本

〔医師部会：60本（うち2本は過去に発表された演題の論文，うち1本は次回発表される演題の論文），看護部会：13本，救急隊員学術研究会：0本〕

	論文数	備考
2014年学会全発表数	254件 〔医師部会：206件、 看護部会：34件、救急隊員学術研究会： 14件〕	投稿率：27.5%
辞退・未着	184本	
2014年発表論文投稿数	70本 (医師部会：57本、看護部会：13本、 救急隊員学術研究会：0本)	

【参考：投稿率の推移について】

	2007年 28巻	2008年 29巻	2009年 30巻	2010年 31巻	2011年 32巻	2012年 33巻	2013年 34巻
学会発表数	230	211	212	193	213	280	287
辞退・未着	155	116	123	101	132	182	195
投稿数	75	95	89	92	81	93	91
投稿率	32.6%	45.0%	42.0%	47.7%	38.0%	33.2%	31.5%

2) 掲載論文数

	論文数
掲載論文数	65本 (医師部会：53本，看護部会：9本， 救急隊員学術研究会：0本，その他：3本)
査読継続	3本
投稿辞退	5本
論文受理率	89.0%

3) 広告数

4社（広告依頼数 全 45社）
（旭化成ファーマ，CSL ベーリング，大正富山医薬品，エアーストレッチャー）

4) 編集スケジュール

2月 1日～ 論文投稿受付。
4月 17日 医師部会・看護部会の発表者に対し督促。
7月 1日～ 各編集委員による投稿論文の査読。
9月中旬 編集委員によって査読が行われた論文を著者に戻し，リライトを依頼。
10月上旬 著者校正締切。
10月下旬 リライトが届いていない論文について督促。編集委員による再査読。
11月 編集委員による再査読。執筆者による再リライト。
12月下旬 責了。
12月末 納品，発送

5) SOS-KANTO 活動状況報告の掲載について

SOS-KANTO 運営小委員会より、『日本救急医学会関東地方会雑誌』第35巻2号にSOS-KANTOの活動状況報告を掲載することが提案された。常任幹事会による承認後，原著論文として執筆を依頼し，掲載した。また，当該論文については，Acute Medicine & Surgery (AMS)へ英文論文が二次投稿された。

以上

日本救急医学会関東地方会ホームページ報告

2015年2月7日

ホームページ担当常任幹事 田中 裕

1. ホームページ更新情報について

委託先：京葉コンピューターサービス

【2014年1月】

- ・投稿規程を更新しました。各種申請書式を更新しました。(14.01.21)

【2014年3月】

- ・SOS-KANTOを更新しました。(14.03.04)
- ・幹事名簿を更新しました。役員一覧を更新しました。学術集会を更新しました。学術集会の写真を更新しました(14.03.19)

【2014年4月】

- ・日本救急医学会評議員候補者・地方会推薦について掲載しました。(14.04.04)
- ・SOS-KANTOを更新しました。(14.04.25)

【2014年5月】

- ・SOS-KANTOを更新しました。(14.05.08)
- ・SOS-KANTOを更新しました。日本救急医学会評議員候補者・地方会推薦について掲載しました。(14.05.15)
- ・SOS-KANTOを更新しました。(14.05.29)

【2014年8月】

- ・学術集会を更新しました。(14.08.18)

【2014年9月】

- ・学術集会を更新しました。(14.09.11)

【2014年10月】

- ・学術集会を更新しました。(14.10.16) (14.10.27)

【2014年11月】

- ・新幹事公募のお知らせを掲載しました。各種申請書式を更新しました。(14.11.10)

【2014年12月】

- ・関連学会案内を更新しました。(14.12.09) (14.12.12)

以上

第 66 回日本救急医学会関東地方会学術集会
第 53 回救急隊員学術研究会（予定）

会期：2016 年 2 月 6 日（土）：第 66 回日本救急医学会関東地方会学術集会
2016 年 2 月 12 日（金）：第 53 回救急隊員学術研究会

会場：第 66 回日本救急医学会関東地方会学術集会：都市センターホテル
第 53 回救急隊員学術研究会：文京シビックセンター

会長：横田裕行（日本医科大学大学院救急医学、同付属病院高度救命救急センター）

事務局長 恩田秀賢（日本医科大学救急医学）

事務担当 広瀬美知子（日本医科大学救急医学秘書）
日本コンベンションサービス(JCS)

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

日本医科大学付属病院高度救命救急センター内

TEL：03-3822-2131（内線 6969）

FAX：03-3821-5102

第53回 救急隊員学術研究会

第66回 日本救急医学学会関東地方会学術集会



第66回
日本救急医学学会関東地方会学術集会

会期 2016年2月6日(土)

会場 都市センターホテル

会長 横田 裕行 (日本医科大学大学院医学研究科救急医学分野)

演題募集期間 >>> 2015年10月1日(木)～11月30日(月) (仮)

事務局

日本医科大学付属病院 高度救命救急センター
Tel:03-3822-2131 Fax:03-3821-5102
事務局長: 恩田 秀賢

運営
準備室

日本コンベンションサービス株式会社
Tel:03-3508-1214 FAX: 03-3508-1302
E-mail:66jaam_kantou@convention.co.jp



http://www2.convention.co.jp/66jaam_kantou/

日本救急医学会関東地方会会則施行細則

第1章 幹事

(資格)

第1条 幹事は、次項に定める有資格者の中から選任される。

- 2 幹事になるための審査を受けようとする者（幹事候補者と略記）は、次の条件をすべて具備していなければならない。
- (1) 満65歳未満の正会員であること
 - (2) 申請時において引き続き3年以上の会員歴を有し、会費を完納していること。
ただし、日本救急医学会関東地方会以外の日本救急医学会各地方会での会員歴を加えれば継続した3年になる場合はこれを認める。（証明書添付）
 - (3) 国外留学等で会員歴に中断がある場合には、中断以前に「継続した3年間」の会員歴があれば認めること。
 - (4) 最近5年間に救急医学に関する十分な業績があること。
 - (5) 名誉会員または幹事2名以上の推薦を受けていること。

(審査の理由)

第2条 幹事候補者は、承認を受ける学術集会の30日前までに、別に定める様式の幹事候補者審査申請書および業績を学会事務局に提出しなければならない。ただし、日本救急医学会関東地方会を含めた日本救急医学会各地方会の幹事歴がある者はその証明書の提出をもって業績とすることができる。

(選任)

第3条 幹事の選任は、常任幹事会の議を経て行い、幹事会の承認を要する。ただし、幹事候補者に日本救急医学会関東地方会を含めた日本救急医学会各地方会の幹事歴がある場合は常任幹事会の承認のみで選任できる。

(中略)

附則 この細則は、平成12年6月17日から施行する。

この改正は、平成27年2月7日から施行する。

日本救急医学会関東地方会 2014年度決算報告書
(2014年1月1日～2014年12月31日)

【収入の部】

科目	予算	決算	予算比	備考
会費収入	6,650,000	6,125,000	△ 525,000	幹事：10,000円・一般：5,000円
当年度・過年度収入		6,085,000		
前受会費収入		40,000		
雑収入	800,200	400,222	△ 399,978	
広告掲載料	500,000	200,000	△ 300,000	35巻2号
銀行預金利息	200	222	22	
別刷代	0	0	0	
地方会補助金	200,000	200,000	0	※日本救急医学会20万円
その他	100,000	0	△ 100,000	
収入合計	7,450,200	6,525,222	△ 924,978	

【支出の部】

科目	予算	決算	予算比	備考
事業費	8,041,555	6,577,592	1,463,963	
刊行費(発送費を含む)	3,500,000	3,446,154	53,846	34巻2号製作費(2013年12月発刊：3,421,118円)、発送費
地方会補助費	2,200,000	2,200,000	0	東海大学
会議費	1,100,000	177,050	922,950	
常任幹事会		141,044		年2回開催
編集委員会		0		開催せず
会計監査		4,200		
看護部会運営委員会		31,806		年2回開催
交通費	500,000	109,080	390,920	
常任幹事会		68,000		
編集委員会		0		
事務局		8,080		
会計監査		5,000		
看護部会運営委員会		28,000		
印刷費	200,000	194,535	5,465	事務局コピー代
ホームページ運営費	261,555	267,228	△ 5,673	21,000円×12ヵ月+ドメイン管理費
SOS-KANTO 2012	280,000	183,545	96,455	
会議費		50,754		
交通費		62,130		
データ処理費		50,000		
その他		20,661		HP：ID/パスワード設定費、資料溶解処理費
事務費	1,401,000	1,528,090	△ 127,090	
通信費	250,000	331,075	△ 81,075	
切手代		51,470		
宅配便代		6,248		
その他発送費		273,357		
業務委託費	1,071,000	1,094,400	△ 23,400	委託先：(株)へるす出版事業部
消耗品費	50,000	89,887	△ 39,887	
租税公課	20,000	0	20,000	
振込手数料	10,000	12,728	△ 2,728	
予備費	50,000	0	50,000	
支出合計	9,492,555	8,105,682	1,386,873	
収支	-2,042,355	-1,580,460	461,895	
前年度(2013年)繰越金	13,691,496	13,691,496		
次年度(2015年)繰越金	11,649,141	12,111,036		

銀行口座残高	¥152,925
郵便口座残高	¥11,862,992
小口現金残高	¥85,119
小計	¥12,101,036
未払金	¥0
未収金	¥10,000
合計	¥12,111,036

監査報告書

日本救急医学会関東地方会の2014年度(2014年1月1日～2014年12月31日)における収支計算書、およびそれに付随する諸帳簿について必要な監査手続きを実施した結果、2014年度の経営状況を適正に表現しており、かつ会計手続きに不正のないことを認める。

以上

2015年 1月 13日

日本救急医学会関東地方会

監事 坂本哲也 

監事 山口芳弘 

日本救急医学会関東地方会 2015年度予算(案)
(2015年1月1日～2015年12月31日)

【収入の部】

科目	2014年度予算	2014年度決算	2015年度予算
会費収入	6,650,000	6,125,000	6,500,000
雑収入			
広告掲載料	500,000	200,000	300,000
銀行預金利息	200	222	200
補助金	200,000	200,000	200,000
その他	100,000	0	0
収入合計	7,450,200	6,525,222	7,000,200

【支出の部】

科目	2014年度予算	2014年度決算	2015年度予算
事業費			
刊行費(発送費を含む)	3,500,000	3,446,154	3,500,000
地方会補助費	2,200,000	2,200,000	2,200,000
会議費	1,100,000	177,050	500,000
交通費	500,000	109,080	300,000
印刷費	200,000	194,535	200,000
ホームページ運営費	261,555	267,228	270,000
SOS-KANTO 2012	280,000	183,545	200,000
事務費			
通信費	250,000	331,075	300,000
業務委託費	1,071,000	1,094,400	1,101,600
消耗品費	50,000	89,887	250,000
租税公課	20,000	0	0
振込手数料	10,000	12,728	10,000
予備費	50,000	0	50,000
支出合計	9,492,555	8,105,682	8,881,600
収支	-2,042,355	-1,580,460	-1,881,400
前年度繰越金	13,691,496	13,691,496	12,111,036
次年度繰越金	11,649,141	12,111,036	10,229,636

日本救急医学会関東地方会 歴代会長 一覧

	会期年月	会長	所属
第1回	S51(1976)年4月	故 織畑 秀夫	東京女子医科大学
第2回	S52(1977)年2月	故 大内 正夫	済生会神奈川県病院
第3回	S52(1977)年6月	故 飯島 登	聖マリアンナ医科大学
第4回	S53(1978)年2月	故 丹羽 直久	武蔵野赤十字病院
第5回	S53(1978)年6月	西邑 信男	日本医科大学
第6回	S54(1979)年2月	佐々木 仁也	都立墨東病院
第7回	S54(1979)年6月	故 亀谷 寿彦	東邦大学
第8回	S55(1980)年2月	故 若林 利重	東京警察病院
第9回	S55(1980)年6月	故 田中 隆	日本大学駿河台病院
第10回	S56(1981)年2月	故 泉 周雄	国立東京第二病院
第11回	S56(1981)年6月	大和田 隆	北里大学
第12回	S57(1982)年2月	野口 照義	千葉県救急医療センター
第13回	S57(1982)年6月	松田 博青	杏林大学
第14回	S58(1983)年2月	故 渡辺 晃	国立水戸病院
第15回	S58(1983)年6月	石田 清	埼玉医科大学
第16回	S59(1984)年2月	故 矢沢 知海	都立広尾病院
第17回	S59(1984)年6月	都築 正和	東京大学
第18回	S60(1985)年2月	故 大島 武雄	伊勢崎総合保健センター
第19回	S60(1985)年6月	故 大塚 敏文	日本医科大学
第20回	S61(1986)年2月	梅園 明	済生会宇都宮病院
第21回	S61(1986)年6月	小林 國男	帝京大学
第22回	S62(1987)年2月	故 高橋 勝三	武蔵野赤十字病院
第23回	S62(1987)年6月	故 八木 義弘	順天堂大学浦安病院
第24回	S63(1988)年2月	針谷 英世	大宮赤十字病院
第25回	S63(1988)年6月	芦川 和高	聖マリアンナ医科大学
第26回	H1(1989)年2月	中田 義隆	筑波メディカルセンター
第27回	H1(1989)年6月	故 三村 一夫	防衛医科大学校
第28回	H2(1990)年2月	荒木 駿二	公立昭和病院
第29回	H2(1990)年6月	故 上嶋 権兵衛	東邦大学
第30回	H3(1991)年2月	山本 修三	済生会神奈川県病院
第31回	H3(1991)年6月	平澤 博之	千葉大学
第32回	H4(1992)年2月	故 村松 正久	江東病院
第33回	H4(1992)年6月	高橋 愛樹	昭和大学藤が丘病院
第34回	H5(1993)年2月	島崎 修次	杏林大学
第35回	H5(1993)年6月	小池 莊介	東京医科大学

	会期年月	会長	所属
第36回	H6(1994)年2月	故 隣谷 義人	埼玉医科大学
第37回	H6(1994)年6月	上田 守三	東海大学
第38回	H7(1995)年2月	矢崎 誠治	日本大学駿河台病院
第39回	H7(1995)年7月	杉山 貢	横浜市立大学
第40回	H8(1996)年2月	鈴木 忠	東京女子医科大学
第41回	H8(1996)年6月	故 中村 紀夫	東京慈恵会医科大学柏病院
第42回	H9(1997)年2月	前川 和彦	東京大学
第43回	H9(1997)年6月	相川 直樹	慶應義塾大学
第44回	H10(1998)年2月	故 岡田 芳明	防衛医科大学校
第45回	H10(1998)年6月	故 相馬 哲夫	東京医科大学霞ヶ浦病院
第46回	H11(1999)年2月	山中 郁男	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
第47回	H11(1999)年6月	辺見 弘	国立病院機構東京災害医療センター
第48回	H12(2000)年2月	林 成之	日本大学
第49回	H12(2000)年6月	山本 保博	日本医科大学
第50回	H13(2001)年2月	市来 崙 潔	国立病院機構東京医療センター
第51回	H13(2001)年6月	饗場 庄一	前橋赤十字病院
第52回	H14(2002)年2月	黒川 顯	日本医科大学多摩永山病院
第53回	H15(2003)年2月	葛西 猛	亀田総合病院
第54回	H16(2004)年3月	有賀 徹	昭和大学
第55回	H17(2005)年2月	益子 邦洋	日本医科大学千葉北総病院
第56回	H18(2006)年2月	大橋 教良	筑波メディカルセンター
第57回	H19(2007)年2月	明石 勝也	聖マリアンナ医科大学
第58回	H20(2008)年2月	堤 晴彦	埼玉医科大学
第59回	H21(2009)年2月	行岡 哲男	東京医科大学
第60回	H22(2010)年2月	長尾 建	駿河台日本大学
第61回	H23(2011)年2月	相馬 一亥	北里大学
第62回	H24(2012)年2月	堀 進悟	慶應義塾大学
第63回	H25(2013)年2月	坂本 哲也	帝京大学
第64回	H26(2014)年2月	兼坂 茂	横浜労災病院
第65回	H27(2015)年2月	猪口 貞樹	東海大学
第66回	H28(2016)年2月	横田 裕行	日本医科大学
第67回	H29(2017)年		

新規常設委員会設置について

1. 多施設研究検討委員会（構成：医師部会・看護部会・救急隊員部会）

【目的】救急医学に関連するデータの多施設集積と、データ解析に基づくエビデンスの国内外への発信のための検討を行うこと。

今まで SOS-KANTO 委員会が、心停止を対象に多施設研究を実施してきましたが、他の救急医療域においても多施設研究の企画、立案、実践を図る必要があります。本委員会は次回の心停止症例集積研究も含めて包括的に多施設研究を検討していくものにしたと思います。

⇒「多施設研究検討委員会」については「多施設研究企画委員会」として委員会の設置が提案された。（平成 26 年度第 1 回常任幹事会）

⇒ SOS-KANTO 委員会でやってきた他施設研究を発展させることを目的に様々な議論が持たれた。例えば日本救急医学会（親会）臨床研修指導委員会の、関東地方会側のカウンターパートとして機能する委員会として設置をしてはどうか。また、方向性として疫学的な面を優先してレジストリ事業として進めていくのか、あるいは学術研究・論文化をめざすスタディベースで進めていくのかについて議論が持たれた。テーマについても、SOS-KANTO では心停止を対象としてきたがそれだけに固執することもまた問題ではないか、またテーマについては時事性を重視し 1 年程度の短期間を目処にデータ集積・発信を行っていくというのもよいのではないかと（例：脱法ハーブ）、等々の意見が出された。明確な結論は出なかったため、本委員会の設置については継続審議とされた。（平成 26 年度第 2 回常任幹事会）

⇒引き続き様々な議論が持たれた。結果、SOS-KANTO2012 の終了に伴い、次期他施設研究や地域に特化した研究のアイデアを募り、それをコーディネートしていく委員会を設置することが決定された。本決定については幹事会に報告し、その後 HP 等から委員の募集をおこなっていくとされた。（平成 27 年度第 1 回常任幹事会）

2. 関東地方災害医療対応検討委員会（構成：医師部会・看護部会・救急隊員部会）

【目的】関東地方の被災地域内災害医療対応の検討を行うこと。

首都直下地震等、関東地方が被災する大災害を想定した関連諸機関・団体の対応計画の骨子を共有し、連携の強化を図ることが不可欠です。本委員会は、様々な立場や視点からの対応計画の骨子の共有と連携強化を目指すものです。

⇒「関東地方災害医療対応検討委員会」については「関東地方災害医療コーディネーター連絡会議」とし、前身となる委員会を設置した上で方向性などについて議論を深

める必要があるとされた。(平成 26 年度第 1 回常任幹事会)

⇒ 森村常任幹事長から、関東圏では 2015 年 3 月頃に厚生労働省主催で災害医療コーディネーター研修の開催が予定されていることが紹介され、委員会の立ち上げはそれ以降改めて検討していくとされた。(平成 26 年第 2 回常任幹事会)

3. 関東地方メディカルコントロール (MC) 協議会連絡会議 (構成：医師部会・看護部会・救急隊員部会)

【目的】各地域の MC 協議会の取組みの共有を図り、問題点を検討すること。

地域 MC 担当者による、現況の共有と問題点問題点の検討、課題抽出、対策の提案等を行うものです。

⇒「関東メディカルコントロール (MC) 協議会連絡会議」についても各地域の MC 協議会や医師会などへの連絡が必要であるため、まずは前身となる委員会を作ることが提案された。(平成 26 年度第 1 回常任幹事会)

⇒2015 年 2 月開催の日本救急医学会関東地方会学術総会にて 50 名程度の部屋を学術集会の終了前後の時刻に 1 時間程度確保、第 1 回の会合を開催する。例えば総務省から出されているプロトコールについて、実際には各 MC でどのように扱っているか等について地域の横方向の情報交換の場の提供を目的とし、まず医師部会として立ち上げていくこと、また厚生労働省研究 (平成 23・24 年度厚生労働科学研究費補助金「救急救命士の処置範囲に係る研究」研究班 主任研究者 野口 宏 先生) の関係から野口先生にも参加していただく事が提案され、今後メール連絡にて準備を進めていくとされた。(平成 26 年第 2 回常任幹事会)

⇒2015 年 2 月 7 日 (土) 17～18 時、パシフィコ横浜会議センター第 6 会場にて第 1 回関東地方メディカルコントロール協議会連絡会議を開催する。出席者は主に関東地方内の MC 協議会事務局担当者等を予定している。

以上